

令和3年度 作物栽培管理情報第11号

令和4年3月発行

大分県中部振興局 集落営農・農地活用班

1. 令和4年産麦 4. 出穂後の管理作業

- 令和4年産麦は、播種後から出芽期及び分けつ期の気象が平年より低温少雨であったことから平年より生育が遅れ気味に推移しました。現在節間伸長期を迎えており、出穂は平年よりやや早くなる見込です。
- 開花最盛期以降の赤かび病防除、醤油用小麦への実肥施用を確実に行いましょう。

1) 赤かび病防除 ～予防が肝心、麦種毎に2回の適期防除で発生阻止！～

(1) 防除回数：2回

① 1回目 開花最盛期（麦の穂に葯＝花粉の入った袋が付いている時期）

② 2回目 ①の7～10日後

麦種	出穂期	防除適期と出穂期後の日数																					
		+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+10	+11	+12	+13	+14	+15	+16	+17	+18	+19	+20		
裸麦						1回目防除									2回目防除								
小麦							1回目防除												2回目防除				

- 出穂期は、開花する前に圃場全体で40～50%穂が出た時期を指します。
- 出穂後日数と発生情報に注意し、麦種毎の防除適期を逃さないようにしましょう。

(2) 防除薬剤 **※赤かび病に抵抗性を与えないよう、2回目は1回目と違う薬剤を使用しましょう。**

薬剤名	散布時の注意		使用上の注意	
	倍率	散布量/10a	収穫の	回数
ワークアップフロアブル	2000～3000倍	60～150L	7日前まで	3回以内
シルバキュアフロアブル	2000倍		(小麦) 7日前まで (裸麦) 14日前まで	2回以内
トップジンMゾル	1500倍		14日前まで	1回以内

- 使用する順序は、出荷先の栽培暦を参考にしてください。

参考 散布量別の、薬剤使用量

希釈倍率	散布量/10a		
	60L	100L	150L
3000倍	20ml	33ml	50ml
2000倍	30ml	50ml	75ml
1500倍	40ml	67ml	100ml

注意 ④ 他の作物に薬剤がかからないよう、防除前に圃場周辺の風向き・強さ・野菜等の麦以外の作物が栽培されている圃場を確認しましょう！

ポイント たった1粒の赤かび粒が、生産物の価値を失わせます。防除を徹底し、発生しないよう心掛けましょう！

2) (醤油用小麦限定) 実肥を忘れずに ～高品質＝高タンパク化～

(1) 成分量 : 窒素のみ6kg/10a

(2) 施用法等 : 下記 (赤かび病防除と同時施用は原則2回実施)

施用法	肥料名	施用量/10a	回数	時期
施肥のみ	硫安 (N : 21%)	30kg	1回	出穂期～10日後
	尿素 (N : 46%)	13kg		
赤かび病防除と同時		6.5kg	2回	1回目・2回目防除期

※赤かび病防除と同時に行う場合は、所定量の尿素を溶液と混用散布

- 赤かび病防除と同時散布により葉焼けが生じますが、収量・品質に影響しません。

ポイント 醤油用小麦の実肥施用は品質向上の総仕上げです。小麦のタンパク含有率を高め、収入向上を図りましょう。

湿害防止と収穫作業効率化のため、排水対策を引き続き行ってください。

お問い合わせ先 : 電話097-506-5791

ホームページ : <http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html>